

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2014年4月4日から2021年8月16日まで
運用方針	主としてマザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル（NZドル）建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>短期NZドル債マザーファンド</b> ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、高格付けのNZドル建ての公社債および短期金融商品へ実質的に投資することにより、安定的な利息収益の確保を目指します。 ■原則として為替ヘッジは行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資は行いません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <b>短期NZドル債マザーファンド</b> ■株式への投資は行いません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年2回（原則として毎年3月および9月の7日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みません。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">資産成長型は複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 （基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）</div>

# 短期NZドル債オープン （資産成長型）

【繰上償還 運用報告書(全体版)】

(2021年3月9日から2021年8月16日まで)

第 15 期


償還日 2021年8月16日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは主としてマザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル（NZドル）建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。ここに当期の運用状況等をご報告いたします。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。

 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 短期NZドル債オープン（資産成長型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公社債 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配金	期騰 落率	期騰 落率	期騰 落率		
	円	円	%		%	%	百万円
11期 (2019年9月9日)	8,998	0	△ 6.6	91.94	△ 7.5	91.4	30
12期 (2020年3月9日)	8,482	0	△ 5.7	86.92	△ 5.5	97.8	27
13期 (2020年9月7日)	9,536	0	12.4	96.62	11.2	96.9	29
14期 (2021年3月8日)	10,090	0	5.8	105.05	8.7	96.5	27
(償還日) 15期 (2021年8月16日)	(償還価額) 9,937.44	0	△ 1.5	102.72	△ 2.2	—	19

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

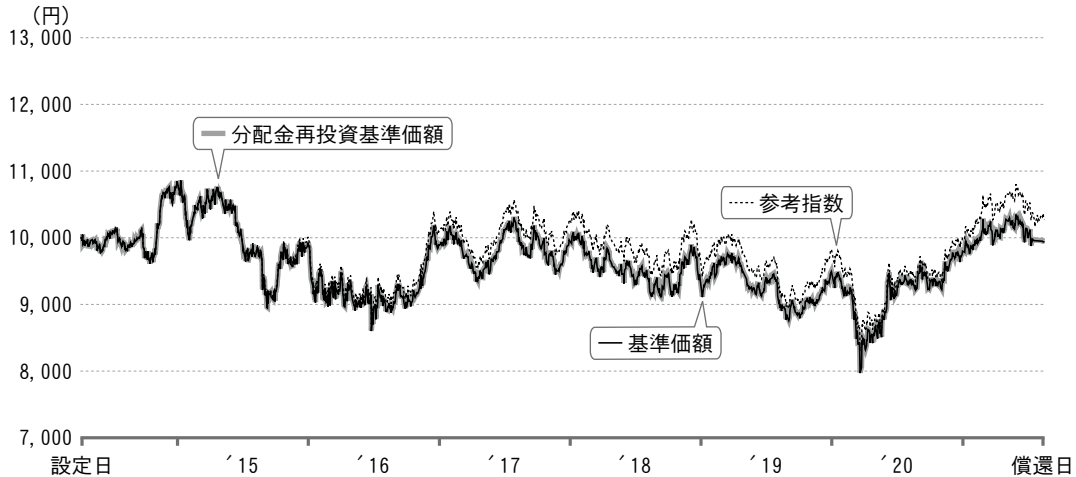
年月日	基準価額		(参考指数) Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公社債 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2021年3月8日	円	%		%	%
	10,090	—	105.05	—	96.5
3月末	10,057	△0.3	104.56	△0.5	90.0
4月末	10,276	1.8	106.65	1.5	90.9
5月末	10,277	1.9	107.21	2.1	92.2
6月末	9,994	△1.0	104.00	△1.0	91.5
7月末	9,953	△1.4	102.79	△2.2	—
(償還日) 2021年8月16日	(償還価額) 9,937.44	△1.5	102.72	△2.2	—

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

設定以来の運用状況（設定日（2014年4月4日）から償還日（2021年8月16日）まで）

設定以来の基準価額の推移



※参考指数は、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因（2014年4月4日から2021年8月16日まで）

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品へ投資を行いました。

上昇要因

- ・保有債券からインカム収入を得たこと
- ・保有債券のキャピタル収益を得たこと

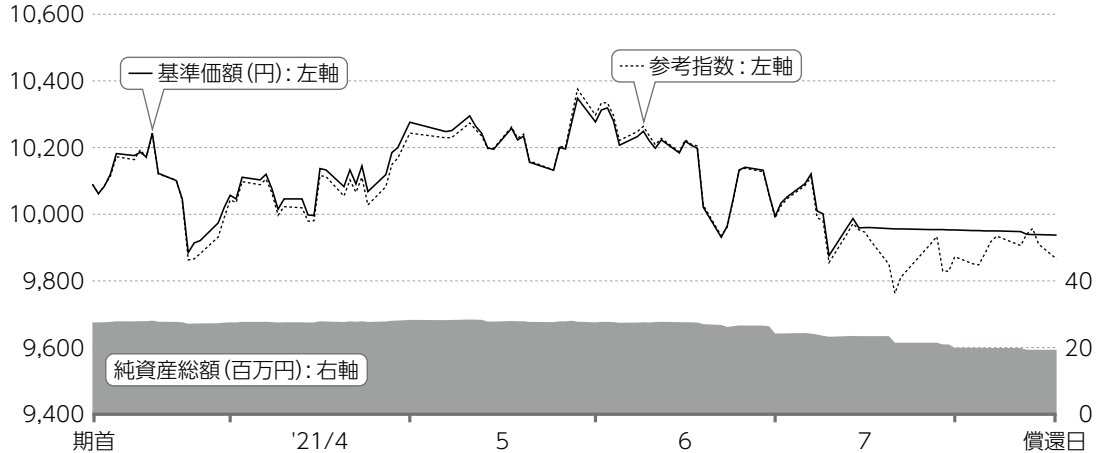
下落要因

- ・ニュージーランド・ドルが下落したこと

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2021年3月9日から2021年8月16日まで）

## 基準価額等の推移



※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期 首	10,090円
償 還 日	9,937円44銭
騰 落 率	-1.5%

※当ファンドの参考指数は、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### 基準価額の主な変動要因(2021年3月9日から2021年8月16日まで)

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品へ投資を行いました。

#### 上昇要因

- 保有債券からインカム収入を得たこと

#### 下落要因

- ニュージーランド・ドルが下落したこと

### 投資環境について（2021年3月9日から2021年8月16日まで）

主要国で新型コロナウイルスのワクチンの接種が開始されるなかで、グローバルに景気回復への期待が高まり、ニュージーランド債券市場でも3月までは利回りが上昇基調となりました。一方、3月以降は景気回復への期待を概ね織り込んだことや、新型コロナウイルスの変異ウイルスの影響から主要国で感染者数が再び増加したことで、

債券利回りの上昇は、ピークアウトしました。ニュージーランドでは、新型コロナウイルスの感染者数は抑制され、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）は利上げに向かう姿勢を示したものの、グローバルな感染拡大による景気回復に対する期待の後退などから、利回りは上下しつつも横ばい圏で推移しました。

### ポートフォリオについて（2021年3月9日から2021年8月16日まで）

#### 当ファンド

主要投資対象である短期NZドル債マザーファンドを運用期間を通じて組み入れました。その後、2021年8月の償還に向けてマザーファンドを売却し、2021年8月16日に繰上償還いたしました。

#### 短期NZドル債マザーファンド

期間の騰落率は、-1.0%となりました。

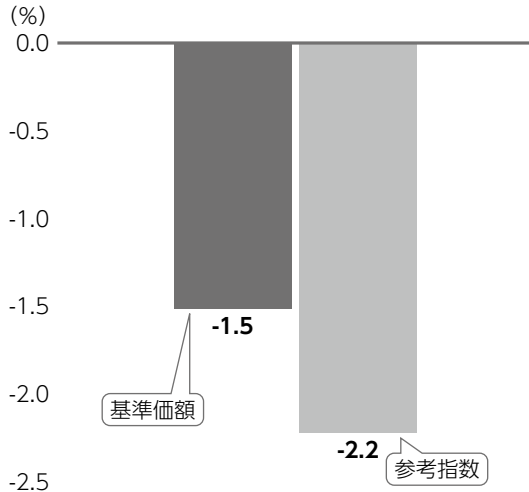
新型コロナウイルスのワクチンの普及によって経済正常化が進む過程で、中期的には再び債券利回りが上昇に向かうとの見通しのなか、新型コロナウイルスの感染拡大やRBNZ（ニュージーランド準備銀行）の金融引き締めが懸念され利回りが低下した

場面では、利回りの低下は一時的と見てデュレーション\*を段階的に引き下げていきました。ニュージーランドではRBNZが他国に先駆けて利上げに向かうとの見通しもデュレーションを段階的に引き下げていく背景となりました。その後、2021年8月の償還に向けて保有債券を売却し、2021年8月13日に繰上償還いたしました。

\*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

ベンチマークとの差異について（2021年3月9日から2021年8月16日まで）

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数として Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について（2021年3月9日から2021年8月16日まで）

償還のため、該当事項はございません。

## 2 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

## 短期N Zドル債オープン（資産成長型）

### 1万口当たりの費用明細（2021年3月9日から2021年8月16日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信託報酬</b>	<b>57円</b>	<b>0.561%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> 期中の平均基準価額は10,094円です。
（投信会社）	(28)	(0.274)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(27)	(0.272)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.015)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(-)	(-)	
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(-)	(-)	
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
<b>(d) その他費用</b>	<b>11</b>	<b>0.111</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b>
（保管費用）	(11)	(0.107)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(-)	(-)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合計</b>	<b>68</b>	<b>0.672</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

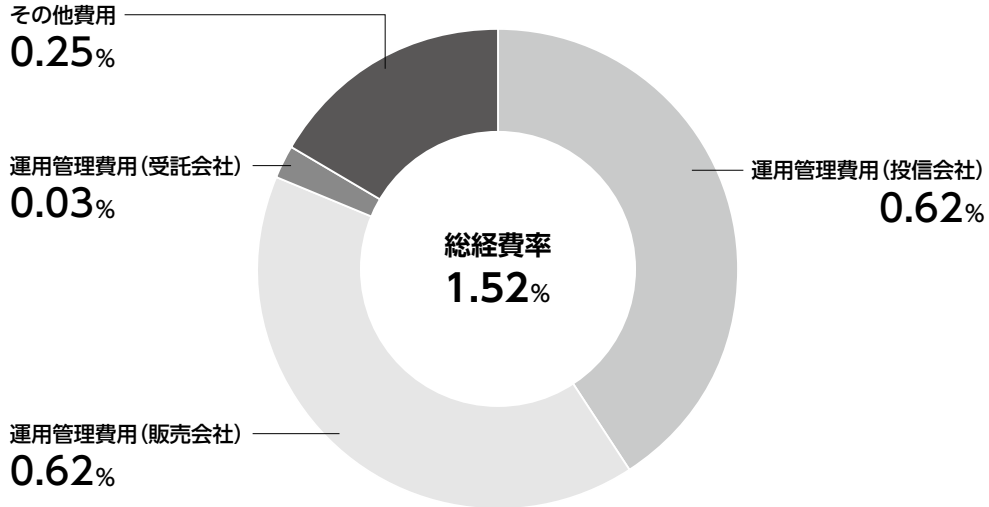
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。





## 参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.52%です。

## 短期N Zドル債オープン（資産成長型）

### ■ 当期中の売買及び取引の状況（2021年3月9日から2021年8月16日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
短期N Zドル債マザーファンド	千口 794	千円 885	千口 25,717	千円 28,197

### ■ 利害関係人との取引状況等（2021年3月9日から2021年8月16日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 （2021年3月9日から2021年8月16日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細（2021年8月16日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
短期N Zドル債マザーファンド	千口 24,922	千口 -	千円 -

### ■ 投資信託財産の構成

（2021年8月16日現在）

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 19,487	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	19,487	100.0

## 短期N Zドル債オープン（資産成長型）

### ■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2021年8月16日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	19,487,446円
コール・ローン等	19,487,446
(B) 負 債	142,863
未払信託報酬	142,830
未払利息	33
(C) 純資産総額(A-B)	19,344,583
元 本	19,466,363
償還差損益金	△ 121,780
(D) 受益権総口数	19,466,363口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,937円44銭

※当期における期首元本額27,337,046円、期中追加設定元本額992,808円、期中一部解約元本額8,863,491円です。

※上記表中の償還差損益金は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■ 損益の状況

(自2021年3月9日 至2021年8月16日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 33円
支 払 利 息	△ 33
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 159,255
売 買 益	75,165
売 買 損	△ 234,420
(C) 信 託 報 酬 等	△ 142,830
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 302,118
(E) 前期繰越損益金	757,573
(F) 追加信託差損益金	△ 577,235
(配当等相当額)	( 1,287,039)
(売買損益相当額)	(△1,864,274)
(G) 合 計(D+E+F)	△ 121,780
償 還 差 損 益 金(G)	△ 121,780

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 短期N Zドル債オープン（資産成長型）

### ■ 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年4月4日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年8月16日		資産総額	19,487,446円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	142,863円
受益権口数	25,000,000口	19,466,363口	△5,533,637口	純資産総額	19,344,583円
元本額	25,000,000円	19,466,363円	△5,533,637円	受益権口数	19,466,363口
				1万口当たり償還金	9,937円44銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	323,400,118	322,079,043	9,959	0	0.00
第2期	311,529,648	323,309,060	10,378	10	0.10
第3期	294,194,044	263,289,206	8,950	0	0.00
第4期	294,120,450	274,764,666	9,342	0	0.00
第5期	417,523,952	384,361,764	9,206	0	0.00
第6期	415,431,270	404,880,286	9,746	0	0.00
第7期	48,972,965	47,674,571	9,735	0	0.00
第8期	46,810,109	44,617,036	9,531	0	0.00
第9期	46,901,763	42,858,034	9,138	0	0.00
第10期	34,301,597	33,039,594	9,632	0	0.00
第11期	34,290,199	30,853,899	8,998	0	0.00
第12期	32,313,039	27,407,745	8,482	0	0.00
第13期	30,593,466	29,172,717	9,536	0	0.00
第14期	27,337,046	27,582,634	10,090	0	0.00

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# 短期NZドル債マザーファンド

第15期（2021年3月9日から2021年8月13日まで）

信託期間	2014年4月4日から2021年8月13日まで
運用方針	<p>■主にニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資することにより、利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。</p> <p>■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(参 考 指 数) Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額
	期 騰 落 率	中 率	期 騰 落 率	中 率		
11期 (2019年9月9日)	円 9,675	% △ 6.0	91.94	% △ 7.5	% 90.8	百万円 291
12期 (2020年3月9日)	9,175	△ 5.2	86.92	△ 5.5	97.1	247
13期 (2020年9月7日)	10,378	13.1	96.62	11.2	97.0	247
14期 (2021年3月8日)	11,047	6.4	105.05	8.7	96.7	213
(償 還 日)	(償還価額)					
15期 (2021年8月13日)	10,938.82	△ 1.0	103.18	△ 1.8	—	111

※参考指数は、当報告書作成時に知れた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

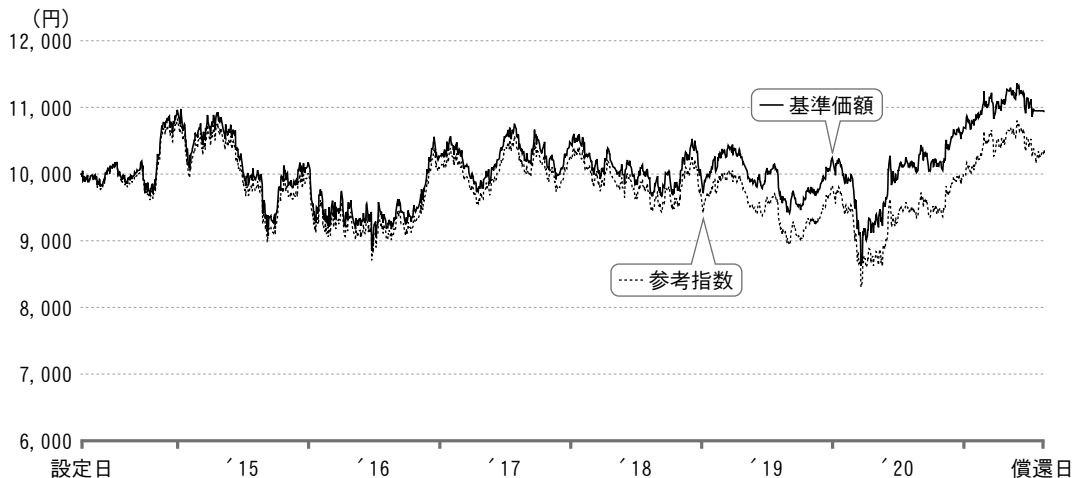
## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公 社 債 率 組 入 比
	騰 落 率	中 率	騰 落 率	中 率	
(期 首) 2021年3月8日	円 11,047	% —	105.05	% —	% 96.7
3月末	11,019	△0.3	104.56	△0.5	90.1
4月末	11,271	2.0	106.65	1.5	90.9
5月末	11,283	2.1	107.21	2.1	92.1
6月末	10,984	△0.6	104.00	△1.0	91.2
7月末	10,949	△0.9	102.79	△2.2	—
(償 還 日) 2021年8月13日	(償還価額) 10,938.82	△1.0	103.18	△1.8	—

※騰落率は期首比です。

設定以来の運用状況(設定日(2014年4月4日)から償還日(2021年8月13日)まで)

設定以来の基準価額の推移



※参考指数は、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year(円換算)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

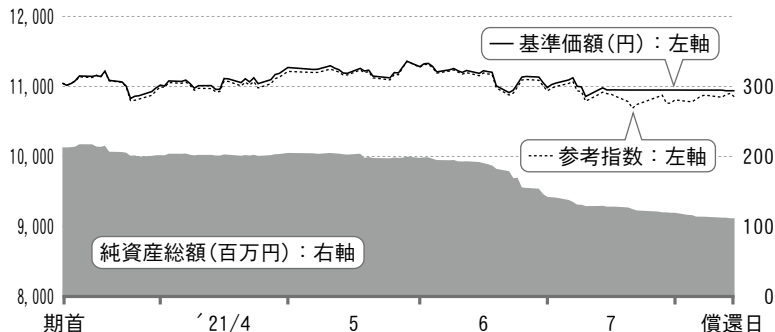
▶ 基準価額の主な変動要因 (2014年4月4日から2021年8月13日まで)

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保有債券からインカム収入を得たこと</li> <li>・保有債券のキャピタル収益を得たこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュージーランド・ドルが下落したこと</li> </ul>

# 1 運用経過

## ▶ 基準価額等の推移について（2021年3月9日から2021年8月13日まで）

### 基準価額等の推移



期首	11,047円
償還日	10,938円82銭
騰落率	-1.0%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## ▶ 基準価額の主な変動要因（2021年3月9日から2021年8月13日まで）

上昇要因	・ 保有債券からインカム収益を得たこと
下落要因	・ ニュージーランド・ドルが下落したこと

### ▶投資環境について（2021年3月9日から2021年8月13日まで）

主要国で新型コロナウイルスのワクチンの接種が開始されるなかで、グローバルに景気回復への期待が高まり、ニュージーランド債券市場でも3月までは利回りが上昇基調となりました。一方、3月以降は景気回復への期待を概ね織り込んだことや、新型コロナウイルスの変異ウイルスの影響から主要国で感染者数が再び増加したことで、債券利回りの上昇は、ピークアウトしました。ニュージーランドでは、新型コロナウイルスの感染者数は抑制され、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）は利上げに向かう姿勢を示したものの、グローバルな感染拡大による景気回復に対する期待の後退などから、利回りは上下しつつも横ばい圏で推移しました。

### ▶ポートフォリオについて（2021年3月9日から2021年8月13日まで）

期間の騰落率は、-1.0%となりました。

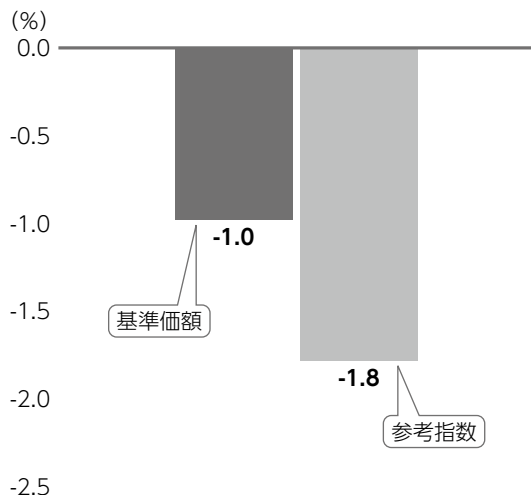
新型コロナウイルスのワクチンの普及によって経済正常化が進む過程で、中期的には再び債券利回りが上昇に向かうとの見通しのなか、新型コロナウイルスの感染拡大やRBNZ（ニュージーランド準備銀行）の金融引き締めが懸念され利回りが低下した場面では、利回りの低下は一時的と見てデュレーション\*を段階的に引き下げていきました。ニュージーランドではRBNZが他国に先駆けて利上げに向かうとの見通しもデュレーションを段階的に引き下げていく背景となりました。その後、2021年8月の償還に向けて保有債券を売却し、2021年8月13日に繰上償還いたしました。

\*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。



▶ ベンチマークとの差異について (2021年3月9日から2021年8月13日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数として Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

■ 1万口当たりの費用明細 (2021年3月9日から2021年8月13日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (保管費用)	18円 (18)	0.161% (0.161)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送入金・資産の移転等に要する費用
合計	18	0.161	

期中の平均基準価額は11,082円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

## 短期NZドル債マザーファンド

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年3月9日から2021年8月13日まで)

公社債

		買付額	売付額
外 国	ニュージーランド	国債証券 549	千ニュージーランド・ドル 940
		地方債証券 511	1,207
		特殊債証券 524	1,264 ( 800)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2021年3月9日から2021年8月13日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年3月9日から2021年8月13日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2021年8月13日現在)

償還日現在の組入れはありません。

### ■ 投資信託財産の構成

(2021年8月13日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	111,765	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	111,765	100.0

## 短期N Zドル債マザーファンド

### ■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2021年8月13日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	111,765,496円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	111,765,496
(B) 負 債	372
未 払 利 息	372
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	111,765,124
元 本	102,172,880
償 還 差 損 益 金	9,592,244
(D) 受 益 権 総 口 数	102,172,880口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 (C / D)	10,938円82銭

※当期における期首元本額192,843,471円、期中追加設定元本額6,110,905円、期中一部解約元本額96,781,496円です。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

短期N Zドル債オープン（毎月分配型）	84,399,534円
短期N Zドル債オープン（資産成長型）	17,773,346円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

### ■ 損益の状況

(自2021年3月9日 至2021年8月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,999,281円
受 取 利 息	2,007,203
支 払 利 息	△ 7,922
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 2,697,839
売 買 益	3,569,143
売 買 損	△ 6,266,982
(C) そ の 他 費 用 等	△ 278,107
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 976,665
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	20,194,159
(F) 解 約 差 損 益 金	△10,321,232
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	695,982
(H) 合 計 (D + E + F + G)	9,592,244
償 還 差 損 益 金 (H)	9,592,244

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。